

ヒナヒゴタイ

Saussurea japonica (Thunb.) DC.

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 IA

選定理由	国内では九州だけで分布域は狭く、本県の生育地も希で、個体数も少ない。越年草のため、生育環境の変化によって生育状態に著しい消長がみられ、絶滅の危険性が高い。
県内分布	別府湾沿岸域，豊後水道域，石灰岩地域
分布域	九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島) 朝鮮半島 ,中国 ,台湾
生育環境	低地や丘陵地（石灰岩地）の草地や林縁。
現 状	生育状態に消長がみられ，かつての生育地で生育状態が持続していない所が多い。
備 考	大陸系遺存植物。

ミヤコアザミ

Saussurea maximowiczii Herder

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由	本県では主として火山性高原の湿地に分布し、生育地、個体数はともに少ない。高原の土地開発や人工牧野の改変によって、生育地の減少や消滅が懸念される。
県内分布	津江山地，玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群
分布域	本州 ,九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島) 朝鮮半島 ,中国(東北部) ,ウスリー
生育環境	丘陵地や低山地の湿地。
現 状	湿地の周辺地にまで生育しており，高原の土地開発によって消滅した生育地がかなりみられる。
備 考	大陸系遺存植物。国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう]

ヒメヒゴタイ

Saussurea pulchella Fisch.

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 II

選定理由	県内の生育地は散在し、個体数は少ない。越年草で草原や林縁に生えるため、植生遷移の進行による環境変化の影響を受け、生育地の減少や消滅が懸念される。
県内分布	耶馬溪地区，(日田低地・丘陵地)，玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，豊後水道後背地域，石灰岩地域，大野川上流域
分布域	北海道 ,本州 ,四国 ,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎) 朝鮮半島 ,中国(東北部) ,樺太 ,東シベリア
生育環境	丘陵地や低山地の草地や林縁。
現 状	生育地は散在していて，生育状態の持続していないことが多い。「日田低地・丘陵地」の標本はあるが，その生育地は把握されていない。
備 考	九州は，分布の南限域にあたる。国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう，日豊海岸]